

平成30年度 家島町幼小中高地域合同避難訓練 実施要項

1 目的

近年多発する集中豪雨や台風による災害、近い将来の発生が危惧されている南海トラフ地震等の自然災害や、あらゆる突発的有事に対して、状況を的確に判断し落ちついた適切な行動ができる能力や態度を培うとともに、協力しあう大切さを実感させる。その中で高校生が地域のリーダーの役割を担うことのできる主体性を育てる。また老人会の協力を得て、生徒・児童と高齢者の方々との交流をはかり、生徒・児童の自己有用感の醸成や高齢者・幼児への慈愛の念を育む。

2 日程

平成30年10月16日（火）

【避難訓練の進行案】

- 8：30 SHRで生徒に地震発生時の対応を説明する（担任）
- 9：40 ・「9：40に大阪湾を震源とするM8の地震が発生、約2時間後に2.5mの津波が家島に到達予定」
・地震が起こったらシェイクアウト(地震による揺れから身を守る行動)をとる
・その後、それぞれの学校毎に避難訓練実施
- 9：50 ・中学生・高校生の避難誘導担当者は、災害時要援護者支援として幼稚園児、小学生および老人会の方を迎えに行く
・炊き出し訓練開始
・高校2年生は三角巾、コテ、タンカ講習（消防署員、防災ジュニアリーダー合宿参加者を中心に）
- 10：15 ・高校1年生は、幼稚園児とご老人（1人に2名がつく）を家島高校に誘導する
・中学生は、小学生各学年に5・6人がつき、家島高校へ誘導
・避難誘導に当たっていない中学生は、先生方、保護者と協力してご飯の準備
・高校3年生は先生方と協力してカレー準備
※中学生はご飯の準備が出来たら、家島高校体育館へ運ぶ
※幼稚園と小学校は家島高校体育館に避難後点呼→報告：家島高校教頭（松浦）まで
- 10：45 ・避難完了・アルファ米に水を入れる
・安全学習
①高校生による防災ジュニアリーダー育成合宿での体験発表
②実習（高校2年生が教える）
・三角巾、コテ、タンカ
・水消火器訓練
・段ボールベッドの試用
- 11：30 講話（飾磨消防署、自衛隊）
- 11：40 炊き出し・アルファ米の試食
- 12：30 訓練終了
- 13：00 学校安全総合支援事業実践委員会
・合同避難訓練の反省及び課題について
・次回合同交通安全講習会について